平成28年度 1学期　生活指導部マネジメント

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成
重点努力目標	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。
分掌重点目標	規則正しい生活習慣を定着させる。 ルール・マナー・モラルの向上を図る。

柱となる活動	常時活動	4月	5月	6月	7月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do＆Check	二学期への提言 Action
みずから学ぶ活動	・給食時の指導、食育掲示の実施 ・献立表、食育だよりによる啓発活動	オリエンテーションによる一斉指導	・西小学校 保護者試食会	・食育月間 ・歯の衛生週間	・家庭科1年アジ調理 ・個別教育懇談 （保護者啓発） ・保育所における食指導（8月） 第1回　生活ふり返りアンケート実施→分析	○「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性を生徒、保護者が理解する。 ○行事・教科と関連した食指導を実施する。	○給食時間の指導回数　各クラス1回 ○生活振り返りアンケート 「朝食を（必ず・たいてい）とる」が95%以上。 ○保護者質問紙 「学年・学級便りや連絡文書をよく読んでいる」肯定意見90%以上。 ○町内保育所における食指導の実施。		
	・生徒たちに育てたい資質・能力（岩美町・教科で設定）を意識した日々の実践の積み重ねを行う	・年間指導計画の検討	・人権学習アンケート 人権学習　1年「人間関係を豊かに」 （ｿｰｼｬﾙｽｷﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）		・人権教育授業参観　・人権作文 人権学習　1年「子どもの権利条約」 2年「統一応募用紙の取り組み	○自分の思いを表現し、人の思いを受け止めながら、落ち着いた生活を実践することができる。 ○相手との対等な関係を考え	「人権教育アンケート」 ○「相手の意見も自分の意見も大切にし、話し合い、より良い方法を考える」の肯定的評価90%以上		
みずから鍛える活動	・校内生活におけるルールおよびマナー指導	・オリエンテーションによる一斉指導 ・GW前休前指導	・テスト週間での下校指導 ・合い服への全体指導	・テスト週間での下校指導 ・夏服への全体指導	・夏休み前の指導 第1回　生活ふり返りアンケート実施→分析	○学校のルールを守って生活できている。 ○テレビ視聴時間やパソコン・ゲーム時間を自己管理できるようにさせる。	○生活振り返りアンケート 「服装・頭髪など学校のルールを守って生活できていますか。」80%以上 「学校がある日のお放課後、1日にどれくらいメディアを見たり、使ったりしますか」2時間未満70%以上 「休憩時間はマナーよく過ごせていますか。」80%以上		
	・歯みがき強化週間の実施（3回/年） （予定）6月，11月，2月 ・生活リズムふり返り週間の実…	・オリエンテーションによる一斉指導 ・各種健康調査 ・内科健診（3年） ・身体測定 ・机椅子の調整 ・避難訓練	・歯科検診 ・眼科検診 ・尿検査 ・浦富マラソン ・内科健診（1年）	・内科健診（2年） ・新体力テスト ・いのちの出前授業 （3年生） 第1回　歯みがき強化週	・アレルギー対応研修会 第1回　生活リズムふり返り週	○生徒に「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣の定着を図る。 ○給食後の歯みがき、夜の歯みがきの習慣付けをし、さらにていねいにみがくよう意識づける。	○生活振り返りアンケート「朝食をとる」が90%以上 ○睡眠時間7時間以上の生徒が55%以上 ○メディアの利用時間2時間未満の生徒平日70%以上 ○夜の歯みがき3分以上65%以上		
	登下校指導	・交通安全指導 ・交通安全教室							
	節水・節電を意識した生活指導	・オリエンテーションによる一斉指導	・無言掃除への取り組み	・校内緑化活動	・節水・無言掃除への取り組み	○積極的に清掃活動に取り組む生徒が増える。 ○積極的な緑化ボランティアへの参加 ○移動教室の際に、教室の戸締まり・消灯ができる。	◇生活ふりかえりアンケート 「時間いっぱい無言掃除に取り組む」の肯定的評価が80%以上		
みんなと生きる活動	スクールカウンセラーとの連携（特に、保護者に対しての助言、方向付け） 定例職員会での生徒の共通理解	・欠席等の状況把握とタイムリーな対応（年度当初の揺れ動く状況について）	・全校教育相談アンケート（連休明け）	必要な事例については不適応対策委員会で検討		○前年度不適応生徒の教室復帰の定着及び新規不適応の未然防止に努める。 ○5月実施の教育相談アンケート等により、不適応ではないがその心配のある生徒の把握に努め、迅速に対応する。	○全校教育相談アンケート「不安なこと、困っていること、心配なこと」を挙げることができる生徒50%以上 ○教職員質問紙「学校不適応対策は委員会を中心に計画的に実施されている」肯定的意見85%以上		
	特別支援教育に係る関係諸機関との連携	生徒理解職員会	第1回支援委員会の実施	・LD等専門員巡回 ・第1回校内就学指導委員会	・生徒支援校内研修会（8月）	○「個別の支援計画」に基づいて教職員が連携して個別支援を行うことができる。 ○具体的支援方法がわかる。	○教職員質問紙「一人ひとりの生徒に対し綿密な特別支援教育が実施されている」肯定的意見85%以上 ○研修後アンケートを実施し、肯定的意見80%以上		